

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月13日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東  
 コード番号 2300 URL <http://www.ci-kyokuto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 直  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 弓削 道哉 (TEL) 092-503-0050  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の業績 (2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	1,728	△2.4	261	32.0	320	43.7	221	76.0
2021年2月期第1四半期	1,770	△24.0	197	△59.9	222	△57.1	126	△59.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	42.17	—
2021年2月期第1四半期	23.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	4,790	2,913	60.8
2021年2月期	4,175	2,709	64.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 2,913百万円 2021年2月期 2,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	13.3	365	—	400	938.2	250	908.8	47.51
通期	5,600	14.6	33	—	100	—	50	—	9.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年2月期1Q	5,551,230株	2021年2月期	5,551,230株
2022年2月期1Q	289,999株	2021年2月期	289,999株
2022年2月期1Q	5,261,231株	2021年2月期1Q	5,261,231株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、対象地域へのまん延防止等重点措置の適用や2021年4月25日から東京、大阪、兵庫、京都の4都府県を対象に3回目となる緊急事態宣言が出され、5月12日から福岡と愛知、5月16日から北海道、岡山、広島を加えた9都道府県に拡大され、国内経済は、個人消費を中心に厳しい状況で推移しております。

このような経営環境の中、当社は、春の衣更えの最需要期を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ビジネスウェアを中心としたクリーニングの入荷が減少したことにより、売上高が減収となりました。

営業面においては、特別会員数や需要の増大を目的に販促活動を計画的に実施しました。5月には「スニーカークリーニング詰め放題サービス」を実施し、「スニーカークリーニング」の更なるPRと販売強化に努めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,728,527千円と前年同四半期と比べ41,624千円(2.4%)の減収となりました。

利益につきましては、前事業年度から実施している工場と店舗の統廃合による事業効率化の効果もあり、営業利益は261,195千円と前年同四半期と比べ63,291千円(32.0%)の増益、営業外収益に新型コロナウイルス感染症対策として実施した休業や営業時間短縮に伴う雇用調整助成金40,666千円を計上したこともあり、経常利益は320,245千円と前年同四半期と比べ97,348千円(43.7%)の増益、四半期純利益は221,893千円と前年同四半期と比べ95,829千円(76.0%)の増益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は、第1四半期に偏る傾向があり、四半期の業績に季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて600,232千円増加し、1,444,116千円となりました。これは、現金及び預金が483,348千円、売掛金が127,868千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて14,369千円増加し、3,346,371千円となりました。これは、投資その他の資産が10,713千円減少したものの、有形固定資産が27,791千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて614,602千円増加し、4,790,488千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて211,494千円増加し、979,680千円となりました。これは、短期借入金が130,000千円減少したものの、未払法人税等が93,148千円、未払金が84,276千円、1年内返済予定の長期借入金が57,980千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて199,017千円増加し、896,929千円となりました。これは、長期借入金が197,409千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて410,512千円増加し、1,876,610千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて204,089千円増加し、2,913,878千円となりました。これは、利益剰余金が206,110千円増加したことなどによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、現時点において、2021年4月27日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	463,676	947,025
売掛金	70,799	198,668
商品	20,505	20,078
原材料及び貯蔵品	27,243	24,217
前払費用	65,835	83,975
未収還付法人税等	39,285	32,240
その他	156,537	137,911
流動資産合計	843,884	1,444,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	250,345	255,706
土地	1,768,980	1,768,980
その他(純額)	52,379	74,809
有形固定資産合計	2,071,705	2,099,496
無形固定資産		
のれん	3,391	3,253
その他	32,213	29,642
無形固定資産合計	35,604	32,895
投資その他の資産		
投資有価証券	517,004	515,072
差入保証金	461,087	452,404
その他	254,953	254,854
貸倒引当金	△8,353	△8,353
投資その他の資産合計	1,224,692	1,213,979
固定資産合計	3,332,001	3,346,371
資産合計	4,175,886	4,790,488
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,376	40,763
短期借入金	230,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	152,444	210,424
未払金	290,103	374,380
未払法人税等	15,919	109,068
賞与引当金	11,939	23,321
資産除去債務	959	1,549
その他	46,443	120,174
流動負債合計	768,185	979,680
固定負債		
長期借入金	277,828	475,237
退職給付引当金	147,471	146,561
役員退職慰労引当金	129,031	122,489
資産除去債務	88,733	88,195
その他	54,846	64,446
固定負債合計	697,912	896,929
負債合計	1,466,097	1,876,610

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,068,060	2,274,170
自己株式	△166,918	△166,918
株主資本合計	2,852,208	3,058,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△142,420	△144,440
評価・換算差額等合計	△142,420	△144,440
純資産合計	2,709,788	2,913,878
負債純資産合計	4,175,886	4,790,488

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	1,770,152	1,728,527
売上原価	439,423	397,048
売上総利益	1,330,728	1,331,478
販売費及び一般管理費	1,132,825	1,070,283
営業利益	197,903	261,195
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	5,050	—
受取家賃	12,463	12,207
雇用調整助成金	—	40,666
その他	7,976	9,013
営業外収益合計	25,493	61,891
営業外費用		
支払利息	360	581
賃貸借契約解約損	—	2,187
その他	140	72
営業外費用合計	501	2,841
経常利益	222,896	320,245
特別損失		
固定資産売却損	—	605
固定資産除却損	269	367
特別損失合計	269	972
税引前四半期純利益	222,626	319,272
法人税等	96,561	97,378
四半期純利益	126,064	221,893

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。